

発 言 通 告 書

令和 7年 8月25日

新城市議会議長 様

新城市議会議員 小林 秀徳

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	40 分	受 付	8月25日	午前/午後 8 時30 分
発言の種類	☒ 一般質問・本会議質疑・委員会質疑・討論 (該当に○印を記入)			
発言事項 (一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。)				
発言要旨 (一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。)				
1 新城市における人口問題対策について 県は、2019年をピークに5年連続の人口減少にあることを踏まえ、自治体間で人口減少対策に乗り出す方針を打ち出し、市町村と連携して人口対策を真正面から取り組むとし、「愛知県・市町村人口問題対策検討会議」を設立し、市町村からの政策提案を受け取り組んでいる。新城市としても県の実施する「農林水産業の振興」、「地域交通の確保」、「空き家の活用」すべてのワーキングに参加し、全力で人口問題対策を追求していくとの方針を踏まえ、「農林水産業の振興」、「地域交通の確保」、「空き家の活用」における各ワーキンググループ会議の開催状況及び市町村からの政策提案の概要、2025年度の取組として、県が実施する事業の概要及びそれに伴う本市の実施する事業の概要について伺う。 2 上水道事業の内容及び将来に向けての展望について 令和5年8月1日に水道料金の改定を実施し、以降、令和12年度まで黒字で計上できるとし、料金改定に伴う内部留保金については、老朽化した水道管、耐震化などの更新財源にしつつ、今後は収支状況の検討、併せて適正な料金改定についての内部検討を実施していくという、以前回答であった。併せて「愛知県水道広域化推進プラン」に基づき水道事業の基盤強化に取り組むとの方針を踏まえ、以下伺う。 (1) 実施した料金改定後の収支計画に対する実績の現状評価について。 (2) 水道管の更新状況及び耐震化の進捗は。 (3) 「愛知県水道広域化推進プラン」についての取組状況は。				



発 言 通 告 書

令和 7年 8月25日

新城市議会議長 様

新城市議会議員 佐 宗 龍 俊

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	60 分	受付	8月25日	<u>午前</u> / 午後 8 時 30 分
発言の種類	<u>一般質問</u> ・本会議質疑・委員会質疑・討論 (該当に○印を記入)			
発言事項 (一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。) 発言要旨 (一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。)				
1 大規模災害発生時に市民が自らの命を守る方法について 令和6年6月定例会において同じ質問をしているが、行政が市民に対して行うべき取組が積極的に実施されていないと感じる。そこで、以下伺う。 (1) 市の指定避難所までの距離が遠い地域については、地域の一時避難所を決めておく、避難経路を確認しておく等、市民各自が自らの命を守る方法を考え、備えておくことが重要であるが、市民がそこまで準備・検討をしているか、はなはだ疑問である。市はどのような認識でいるか。 (2) ハザードマップを配布しただけでは不十分であると感じる。各行政区に出向き、地域の一時避難所と一緒に検討したり、ハザードマップの使い方などの指導を行うべきだと思うが、実施の予定は。 2 森林環境譲与税の活用について 令和元年度から譲与が開始された森林環境譲与税の活用状況を、以下伺う。 (1) これまでに譲与された、年度別の譲与額と総額は。 (2) これまでに森林環境譲与税を活用した施策と、それぞれの執行額は。 (3) 今後の活用計画は。 3 公共施設縮減施策の進捗状況と具体的取組について (1) 現在の公共施設(建築物)総量縮減率は何%か。 (2) 現在進めている公共施設(建築物)とその具体的取組内容は。 (3) 現在遊休施設となっている公共施設(建築物)の今後の進め方は。				

4 新城市消防団総合計画に基づく施策の実施状況について

消防団のみなさんの日々の活動には感謝と敬意を表するところであるが、団員確保に苦勞され、消防力維持のために策定した新城市消防団総合計画に基づいた施策を計画的に進め、当初の目的が達成されることを期待し、以下伺う。

- (1) 現在の消防団員の総数及び基本団員と機能別消防団員の内訳は。
- (2) 人員ボーダーラインとして、基本団員を525名、機能別団員を300名としているが、現状をどのように認識し、今後どのような取組を検討しているか。
- (3) 現在一番力を入れて取り組んでいる施策は何か。
- (4) 議会から市長に提出した「政策執行及び予算編成に関する要望」の中に、「新城市消防団総合計画で示された各種取組を年度計画に落とし込んで公表し、具体的かつ計画的に順次進められたい。」という項目を入れたが、これをどのように受け止め、どのように対応するか。



発 言 通 告 書

令和 7 年 8 月 25 日

新城市議会議長 様

新城市議会議員 竹 下 修 平

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	50分	受付	8月25日	☒ 午前 / 午後 8時48分
発言の種類	☒ 一般質問・本会議質疑・委員会質疑・討論 (該当に○印を記入)			
発言事項 (一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。)				
発言要旨 (一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。)				
1 行政改革について (1) 直近10年間における行政改革に関する取組について、主な成果は。 (2) 新城市行政改革推進計画について、これまでの経緯と現在の位置付けは。 (3) 新城市デジタルトランスフォーメーション(DX)推進計画について、以下の個別の取組に関する進捗状況は。 ア 行政手続きのオンライン化 イ ICT技術を活用した教育環境の充実 ウ 必要な手続きのワンストップ化 エ BPR (Business Process Re-engineering) の徹底 オ ICT技術による業務効率化(AI、RPA等) カ ワークेशन環境の整備 キ データに基づく政策立案(EBPM) (4) 市民と行政との大切な接点である窓口業務のサービス品質について、市長部局の現状認識と市民の満足度は。 (5) 窓口業務の改善に関して、取組状況と今後の展望は。 2 小学校の通学方法について (1) 市内の小学校13校に通う児童の通学方法の内訳は。 (2) 千郷小学校における、バス通学となる児童の条件は。 (3) Sバスのバス通学利用の可能性と注意点は。				

4(1/2)



発 言 通 告 書

令和 7 年 8 月 25 日

新城市議会議長 様

新城市議会議員 山 口 洋 一

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	60 分	受付	8 月 25 日	☒ 午前 / 午後 9 時 04 分
発言の種類	☒ 一般質問・本会議質疑・委員会質疑・討論 (該当に○印を記入)			
発言事項 (一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。) 発言要旨 (一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。)				
1 新城南部企業団地産業廃棄物中間処理施設について 新城南部企業団地産業廃棄物中間処理施設の操業許可更新に係る意見書提出に関し、以下伺う。 (1) 施設の補修及び改修について愛知県との情報共有は。 (2) 改修計画の場合、補修及び改修工事によっては事後報告もあると確認したが、事実確認の有無は。 (3) 2 基の脱臭棟の不具合確認の状況は。 (4) 八名区長会要望書及び新城市議会意見書に基づき、次期更新に向けて市の行うべき事項は。				
2 市長はマニフェストに掲げた「5つの目標と36の提案」により、新城市の10年後に責任をもち、人口減少と少子高齢化の現実には負けないまちづくりに向けて市政全般に邁進されている。任期中に執行された5つの目標に示された各提案の中から、成果について以下伺う。 (1) 次世代に負担を先送りしない ア 職員からの業務改善提案と実践 イ 基金の積み増し (2) 市民の将来不安を取り除く ア 後期高齢者Sバス無償化 イ 買い物支援 (3) 防災、防犯、交通安全対策 ア 土砂災害、洪水害予防の対策強化 イ 再生可能エネルギーによる自給自足電源の拡充				

ウ ゴミのポイ捨てや不法投棄対策強化

(4) 教育、子育て支援

ア 奨学金制度の導入

イ 若者の就職支援

(5) 地域資源を最大限生かす

ア 新城ツーリズム（食、自然、歴史、文化財、スポーツ、温泉）

イ 発注や契約における地元事業者の優先

ウ スマートインターの早期供用と周辺地域の振興策具体化

エ 再生可能エネルギーの普及推進によるエネルギーの地産地消

3 本市で多発した不祥事について、以下伺う。

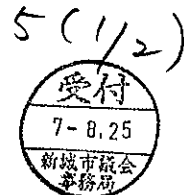
(1) 諸々の不祥事発生の原因はどこにあったのか。

(2) 不祥事による利害関係者への対応経緯と結果は。

(3) 不祥事に関与した職員への懲戒処分及び人事異動は適切なものであったか。

(4) 任命権者としての責務は果たされたと考えているか。

(5) 再発防止策が機能した職場風土となっているか。



発 言 通 告 書

令和7年 8月 25日

新城市議会議長 様

新城市議会議員 小野田直美

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	60分	受付	8月25日	(午前)午後9時43分
発言の種類	☒ 一般質問・本会議質疑・委員会質疑・討論 (該当に○印を記入)			
発言事項 (一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。)				
発言要旨 (一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。)				
1 夏の登下校について 日本の夏は、地球温暖化や偏西風の大きな蛇行、太平洋高気圧の張り出しなど、様々な要因が重なって気温が高くなる。今年は9月以降も全国的に気温の高い状態が続く可能性が高く、残暑が長引く見通しとされていて、来年以降もさらに長期に亘る暑い夏を迎える事になると思われる。そこで、照り返しの影響を受けやすい児童が、一部、猛暑の中を30分以上歩かなければならない夏の登下校のあり方を見直す必要があると考え以下伺う。 (1) 各小学校の対策は。 (2) 小学生の保護者や児童からの声は。 (3) 各小学校から市教育委員会への要望は。 (4) 登下校の交通費の補助要件と補助金の額は、何を基準にして誰がどのように決めたのか。 2 体育館の空調設備設置について 昨今の夏の猛烈な暑さに伴い、児童生徒の学習の場であり避難所としても活用される体育館が、フルに使えない状態になっている。国は、公立学校施設の空調(冷房)設備について予算措置により進めているが、2024年度の体育館の設置率は愛知県で20.6%にすぎない。本市の体育館を、今後気温が上昇するであろう夏場にどう備えていくのか以下伺う。 (1) 令和6年6月15日から9月30日(夏休み期間を除く)までの間で、新城中学校で暑さ指数31を超えて、体育、スポーツの行動制限を受けた日数は。 (2) 暑さ指数が31を超えた場合、市内小中学校の体育の授業は、どのように変わるのか。 (3) 指定避難所として空調設備がないことへの懸念点は。				

5 (2/2)

- (4) 体育館（中規模 1 棟）に空調設備を設置する場合、どれくらいの予算が必要か。
- (5) 体育館の空調設備設置やスポットクーラーに使える補助金は。（種類、補助率、補助額上限、補助期間、補助要件など）
- (6) 各学校から市教育委員会へ設置要望はあるのか。

6(1/2)

発 言 通 告 書

令和7年8月26日



新城市議会議長 様

新城市議会議員

滝川健司

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	60分	受付	8月26日	午前/午後9時00分
発言の種類	☒ 一般質問・本会議質疑・委員会質疑・討論 (該当に○印を記入)			
発言事項(一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。)				
発言要旨(一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。)				
1 豊橋新城スマートIC(仮称)周辺整備について 令和元年11月26日、豊橋新城スマートIC(仮称)の設置に向け準備や検討を行う第1回準備会が豊橋市役所にて開催された。それから7年弱が経過し、本年7月11日豊橋市議会環境経済・建設消防委員会連合審査会にて豊橋新城スマートIC(仮称)周辺土地利用計画(案)が示された。先日の総務経済委員会議案説明会では、IC接続道路及び関連整備事業の進捗状況のみが示され、新城側の周辺土地利用計画については何も報告がなかったがどうなっているのか、やる気があるのか伺う。 2 乳岩峡駐車場設置について テレビやネットで度々紹介され多くの観光客が訪れている乳岩峡であるが、駐車場がなく路上駐車等により地域住民が大変迷惑している。以前は民間事業者が駐車場経営をしていたが、事情により撤退した経緯がある。現在、鳳来東部自治区予算事業として、湯谷温泉大駐車場から乳岩峡へのシャトルバスを運行しているようだが、運行期間が限られ抜本的な解決策とは言えない。恒久的な駐車場を整備し、観光客の誘致とそれによる地域活性化を図るべきと考えるが見解を伺う。 3 廃校・廃園跡地利活用について 旧巴小学校跡地については民間提案制度により、株式会社八重洲ライフが農業・農産物加工・飲食・文化施設の包括的な設立及び運営を行っていくようであるが、制度活用と事業者決定までの経緯を伺うとともに、事業内容の詳細と地域活性化・雇用等地域への波及効果について伺う。事業者のHPを見ると、高齢者向け支援サービスが主な事業内容であるが、今回の提案との関連性、事業計画・タイムスケジュール等を伺う。また、他の学校・こども園跡地について、民間提案制度活用の可能性と課題を伺う。				

4 元新城東高等学校跡地について

令和5年3月24日に本市が「医療・福祉・健康増進」の分野で活用する方針を公表し、それに基づき「元愛知県立新城東高等学校用地活用基本構想」が令和6年1月に策定された。その後1年半が経過し、本来であれば基本計画が示されてもよいのだが、市民病院移転候補地の一つになったり、残地の活用に苦慮され再度全敷地を対象にサウンディング調査をやり直すなど紆余曲折をしている。そもそも「医療・福祉・健康増進」だけで6.4haもの土地を活用するとの方針に無理があったのではないか。市の希望を付けて県に任せるか、民間提案に任せた方がよくないのか今後の対応を伺う。

5 ふるさと納税収支状況について

先日の新聞報道で、東三河8市町村の令和6年度ふるさと納税収支状況が示され、それによると本市の寄付受入額は4,196万円、返礼品を含む総経費が2,076万円、住民税控除流出額7,558万円、地方交付税補填額5,668万円、実質収支額230万円となっている。令和5年より寄付件数で310件、寄付金額で1,263万円増えているが、その要因についてどの様に捉えているのか、また、実質収支が230万円についての見解を伺う。



発 言 通 告 書

令和 7 年 8 月 2 9 日

新城市議会議長 様

新城市議会議員 鈴 木 長 良

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	60分	受 付	8 月 2 9 日	午前 / 午後 9 時 2 4 分
発言の種類	☒ 一般質問・本会議質疑・委員会質疑・討論 (該当に○印を記入)			
発言事項 (一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。)				
発言要旨 (一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。)				
1 リチウムイオン電池の適切な回収による事故防止について 近年、全国的にリチウムイオン電池の誤廃棄等による火災や事故が発生している。令和6年12月25日には、埼玉県上尾市の粗大ごみ処理施設で火災が発生し、その復旧に約4億8千万円もの多額な費用を要したことが報告されている。本市においてもリチウムイオン電池の破損・変形による発火の危険性があることから、ホームページ等を通して分別の徹底が呼びかけられているが、こうした周知だけでは不十分であり更なる取組の強化が求められる。そこで、本市におけるリチウムイオン電池の適切な回収と事故防止に向けた取組について、以下伺う。 (1) リチウムイオン電池等の誤廃棄による事故の実態について (2) 回収・分別ルール of 徹底及び市民への周知について (3) 取組の強化に対する今後の方策について 2 こども誰でも通園制度について 令和8年度より全国展開が予定される「こども誰でも通園制度」の導入に向けた本市の子育て環境整備の取組について、以下伺う。 (1) 制度の概要と目的について (2) 本市の未就園児の現状について (3) 市民への周知と柔軟な制度運用について				

8 (1/1)



発 言 通 告 書

令和 7 年 8 月 2 9 日

新城市議会議長 様

新城市議会議員

山 田 辰 也

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	6 0 分	受 付	8 月 2 9 日	午前 / 午後 2 時 4 0 分
発言の種類	☒ 一般質問・本会議質疑・委員会質疑・討論 (該当に○印を記入)			
発言事項 (一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。)				
発言要旨 (一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。)				
1 新城市市長選挙立候補予定者公開政策討論会の課題について (1) 立候補者の思いを届けるため必要であるが平等性は担保されているか。 (2) 申し込みの期日があるが、期日に間に合わない場合の取扱いは。 (3) 第三者機関が開催すべきと思うが出来ない理由は。				
2 特別職の公務員等選挙活動について (1) 行政区長の選挙活動や政治活動の制限は。 (2) 市長の立候補予定者への選挙活動や政治活動の範囲は。				
3 旧鳳来町時代に購入した富保地区の 1 0 ヘクタールの市有地の活用について (1) 今後の活用は。 (2) 都市計画と周辺道路整備の関連性は。				
4 長篠橋の通行止めについて 通行止めの長篠橋は、撤去後に架け替えしない方針としたが、この橋が無くなる事により地域が疲弊するのでは無いかとの声を聞いているが市の見解に変更は無いか。				
5 ゆ〜ゆ〜ありいなウォータースライダーについて ゆ〜ゆ〜ありいなウォータースライダーの利用が停止したままであるが、今後の対応を伺う。				

9(1/2)



発 言 通 告 書

令和 7 年 9 月 1 日

新城市議会議長 様

新城市議会議員 柴田 賢治郎

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	60分	受付	9月1日 (午前)午後8時36分
発言の種類	☒ 一般質問・本会議質疑・委員会質疑・討論 (該当に○印を記入)		
発言事項 (一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。) 発言要旨 (一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。)			
1 人口減少問題について 新城市は2回にわたり消滅可能性自治体に分類されている。その人口減少の仕組みを理解し、この分類からの脱却を目指す事で、人口減少の歯止めとなると考え以下伺う。 (1) 消滅可能性自治体に分類されていることをどの様に捉えているのか。 (2) 新城市の合計特殊出生率の改善に向けての取組は。 (3) まちの強みを活かした企業誘致が出来ているか。 (4) 近隣で大型商業施設が誘致されたが、市として雇用先と捉えたアプローチをしないか。 (5) 八名地区のスマートインターチェンジ、東郷地区の新城インターチェンジ、三遠南信道路の鳳来峡インターチェンジといった、高速道路へのアクセスを活かした企業誘致や都市計画の見直し、サウンディングの計画があるか。 2 市が取り組むべき観光行政について 7月3日、4日と新城で作られた「三河赤引糸」を伊勢神宮に奉納する「お糸船」事業に参加し、8月30日と31日には新城文化会館で開かれた「戦国博覧会」に参加した。その場所で他市の観光行政の勢いを感じる事となったが、同時に本市としての観光行政がどの様にあるのか考えさせられる機会ともなった。他地域に学ぶ観光施策があるのか以下伺う。 (1) 約1,300年前から続く、お糸船事業は、この新城での糸の生産が無ければ続けられないものとして他市に認識されている。本市としての活用と助成がないのか。 (2) 戦国博覧会の総括と今後は。 (3) 戦国博覧会において他市から観光協会も多く参加頂いたが、本市としてはどのような参加があり、どの様なPRが出来たのか。 (4) この6月に出された市長マニフェスト取組状況報告には「5, 人が集まる元気なまち」「③地域資源を生かした新城ツーリズム」の「令和7年度中に完了見込み」とある総括で「市内観光のガイド育成」とあり、「着地型観光の推進			

9(2/2)

のさらなる拡大と環境整備に努める」とあるが、戦国博覧会ではどのような整合性がはかれたのか。

10(1/1)



発 言 通 告 書

令和 7 年 9 月 1 日

新城市議会議長 様

新城市議会議員 鈴 木 達 雄

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	60分	受付	9月 / 日	<u>午前</u> / 午後 8 時 36 分
発言の種類	☒ 一般質問・ ☐ 本会議質疑・ ☐ 委員会質疑・ ☐ 討論 (該当に○印を記入)			
発言事項 (一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。)				
発言要旨 (一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。)				
1 生活に即した公共交通の育成について 本市は「暮らしに即した公共交通をつくる」「大都市圏と地域をつなぐ公共交通をつくる」「持続可能な公共交通をつくる」の3つを基本方針として公共交通施策を進めてきた。その現状と今後の見通しについて以下伺う。 (1) Sバスの路線見直し等による地域に適した移動手段の確保に関して、やな線、ちさと線、東郷線、吉川市川線、海老連谷線及びその他の路線につき、現状評価と今後の見通しについて。 (2) 田口新城線の維持、利便性向上、利用促進を図るため、昨年10月から路線及び運賃体系の見直しがされたが、それ以降の評価と今後の見通しについて。 (3) Sバス・田口新城線1日乗車券、タクシークーポン付きSバス・田口新城線1日乗車券、Sバス・タクシー共通回数券の導入による利用促進・利便性向上の現状評価と今後の見通しについて。 (4) 高速バス(山の湊号、ジェイアールバス等)の利用状況につき現状評価と今後の見通しについて。 (5) バス、鉄道以外の生活に即した公共交通の育成について。 2 旧鳳来総合支所等跡地の活用について 解体整備が完了した旧鳳来総合支所等跡地の利活用について見通しを伺う。 3 ごみ焼却施設広域化計画について 東三河ごみ焼却施設広域化計画に基づき進めている新城北設ごみ処理広域化施設整備について、進捗状況と今後の見通しを伺う。				

11 (1/2)



発 言 通 告 書

令和 7 年 9 月 1 日

新城市議会議長 様

新城市議会議員 カークランド 陽 子

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	60 分	受 付	9 月 / 日 (午前) / 午後 8 時 39 分
発言の種類	一般質問・本会議質疑・委員会質疑・討論 (該当に○印を記入)		
発言事項 (一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。) 発言要旨 (一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。)			
1 新型コロナワクチン接種記録の保管期間について 新型コロナワクチンの接種記録は、接種による何らかの健康被害が生じた場合、救済制度申請において重要な証拠となるものである。このことを踏まえ、本市での現在の保管期間と今後の対応を伺う。 2 ふるさと納税の取組について 本市では主に返礼品の充実と PR の方法に重点をおいていたふるさと納税の取組だが、令和 6 年 3 月の一般質問で、ふるさと納税は単に返礼金を競うだけの制度ではなく、人材の育成、都会への食糧の供給、森林や河川など貴重な資源管理の維持など、健全な国土と国民生活を支える地方を応援しようという意義もありその意義も踏まえた取組をして欲しいと、ふるさと納税で大きな実績を上げている他市の取組を例に挙げながらお願いしたが、以下伺う。 (1) 現在までのふるさと納税の実績の推移と、市民が他市へ納税している金額は。 (2) 本市におけるその後の取組の変化は。 3 太陽光パネルと本市の再生可能エネルギーの方針について 本市においても太陽光パネルが日を追うごとに増えてきている印象で、市民からは景観への影響、安全性への懸念、災害時の不安等の声も聞かれる。そこで以下伺う。 (1) 現時点で新城市内で設置、または設置が予定されている産業用太陽光発電設備の件数は。 (2) 1000キロワット以上の発電容量をもつ大規模な太陽光発電システムをい			

いわゆる「メガソーラー」と呼ぶが、例えば1000キロワットのメガソーラーの廃棄費用は、国が示している計算式に基づいて計算するといくらになるか。

(3) 事業者が不明となった場合、費用を含めた撤去はどのように行うのか伺う。

(4) 新城市議会から市長に宛てた「景観条例などを制定するなどし、景観・自然・住環境の保護の観点から、太陽光パネルの乱立防止に努められたい」との令和7年度予算・政策要望に対し、景観条例は慎重に検討していく必要がある旨の回答があったが、景観条例以外の方法も含めた見解は。

4 新城市民病院の運営形体のあり方について

現在、新城市民病院においては移転新築の方向で動き出しているが、市民の中からは、医師が不足している状態で建物だけを新しくしても意味がないのでは、との声も聞かれる。全国的な医師不足など課題を抱える病院問題だが、以下伺う。

(1) 現在の新城市民病院の経営状態は。

(2) 過去に新城市民病院存続の危機に陥ったことがあると理解しているが、その時の経緯は。

(3) 新城市民病院は昭和20年に町立新城病院として開院してから公設公営で運営しているが、今後の運営形体のあり方は。

5 新城市自治基本条例について

本条例は理念条例であり、その実効性などの判断が難しい場合もある。そのため第24条ではこの条例の実効性を確保するため、市民自治会議を設置するとあり、また第25条には、市長は5年を超えない期間ごとにこの条例を見直し、必要な場合は改正を行うとあるが、下江市長就任後の4年間でどのような見直しが行われたか、伺う。

12(1/2)



発 言 通 告 書

令和 7 年 9 月 1 日

新城市議会議長 様

新城市議会議員 今 泉 吉 孝

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	60 分	受付	9 月 / 日 (午前) / 午後 8 時 54 分
発言の種類	☒ 一般質問 ・ 本会議質疑 ・ 委員会質疑 ・ 討論 (該当に○印を記入)		
発言事項 (一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。)			
発言要旨 (一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。)			
1 市民の経済状況などについて (1) 直近の生活保護受給者の人数を伺う。 (2) 増減の理由を伺う。 (3) これらに対する施策を伺う。 (4) これらの施策を行っていて市民の経済状況は改善されているのか伺う。 2 新城市子ども食堂・地域食堂推進事業費補助金交付について 本市の交付要綱では「新城市こどもの未来応援事業計画に基づき、子ども食堂や地域食堂を開設する団体に～補助金を交付するもの」とあり、その第5条第5項には、「補助金については、同一の子ども食堂、地域食堂につき補助を開始した年度を含む3年間を上限とする」とある。そこで以下伺う (1) 交付の期限を3年間とした理由を伺う。 (2) 子ども食堂や地域食堂を運営している団体は資金面でも大変苦勞をしているが、交付要綱の第3条第4号には「営利目的とする団体でないこと」とあり、運営費をどのように捻出していくのかが喫緊の課題であり、またこれは難しい状況である。そこで、この補助金交付の3年の期限の延長や期限を設けないなどの処置はできないか伺う。 3 「手話に関する施策の推進に関する法律」の施行について この法律は、本年6月12日に参議院で、同18日に衆議院においてそれぞれ全会一致で可決され成立した。これを受けて本市の対応を以下伺う。 (1) 第3期新城市障害者計画などの福祉計画などはこの法律を受けてどうなるのか。 (2) 今後の課題と対応策は。			

4 新城市における文化振興について

- (1) 本市における文化に対する認識を伺う。
- (2) 現在の文化振興はどのように進めているのか伺う。
- (3) 今後の課題と対応を伺う。

5 資料のデジタル化について

- (1) 市民が制作し寄贈した本や資料のデジタルデータの、図書館に寄贈された件数と現在のデジタル化の進捗状況を伺う。
- (2) 新城市の広報などで使用されていた昭和の市内を撮影した写真のデジタル化の進捗状況を伺う。
- (3) 今後の課題と対応策を伺う。

13(1/1)

発 言 通 告 書

令和 7 年 9 月 1 日



新城市議会議長 様

新城市議会議員 丸 山 隆 弘

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	60 分	受付	9 月 / 日 (午前) / 午後 9 時 0 / 分
発言の種類	☒ 一般質問 ☐ 本会議質疑・委員会質疑・討論 (該当に○印を記入)		
発言事項 (一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。)			
発言要旨 (一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。)			
1 水道事業の今後について (1) 水道料金の今後の推移を伺う。 (2) 経営効率化とコスト削減状況を伺う。 (3) 愛知県及び東三河市町村との広域連携、共同運営策を伺う。			
2 旧鳳来寺高等学校について (1) 校舎及びその他施設の管理状況を伺う。 (2) 校舎と施設の撤去、本市への払い下げ等を伺う。 (3) 門谷地区策定の「歴史が歩いた坂道・門谷表参道修景整備計画」の認識を伺う。			
3 鳳来総合支所周辺総合開発計画について (1) 基本計画の進捗状況及び今後のゾーニング等、計画の見直しを伺う。 (2) 総合支所跡地活用の具体的仕様や事業者の動向を伺う。			
4 長篠橋の今後と周辺対策について (1) 地元説明会開催後の市の対策状況を伺う。 (2) 市民が主張された新たな橋梁計画、道路環境整備、通学路の整備を伺う。			
5 J R 東海による本長篠駅の豪雨災害対策工事について 本年 4 月から 3 年間の工事が開始されているが、利用者への影響を伺う。			
6 A M ・ F M 放送の市内の受信状況について 本市の受信状況は難聴地域が多い。事業者に対する難聴解消要請を伺う。			

14(1/1)



発 言 通 告 書

令和 7 年 9 月 1 日

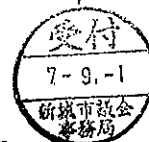
新城市議会議長 様

新城市議会議員 村田 康助

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	40分	受付	9月 1日	午前/午後 9 時 13 分
発言の種類	☒ 一般質問・本会議質疑・委員会質疑・討論 (該当に○印を記入)			
発言事項 (一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。)				
発言要旨 (一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。)				
1 愛知県企業庁に関わる企業用地確保について (1) 経過について伺う。 (2) 目標について伺う。 (3) 今後の展望について伺う。				
2 新城インター企業団地2期について (1) 今後の予定について伺う。 (2) 分譲予定面積について伺う。 (3) 周辺の道路整備について伺う。 (4) 誘致企業に対する優遇制度について伺う。				
3 新東名高速道路の新城市から豊田市までの区間の6車線化について (1) 現状について伺う。 (2) 課題について伺う。 (3) 今後の予定について伺う。				

15(1/2)



発 言 通 告 書

令和7年 9月 1日

新城市議会議長 様

新城市議会議員

浅 尾 洋 平

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	60 分	受付	9 月 / 日 (午前) / 午後 9 時 19 分
発言の種類	一般質問・本会議質疑・委員会質疑・討論 (該当に○印を記入)		
発言事項 (一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。) 発言要旨 (一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。)			
1 新城市の観光事業について 新城市は令和3年、「第2次新城市観光基本計画」を策定し、今後3年間の具体的な取組を記載する「前期アクションプラン」をまとめた。合併した新城市の貴重な観光資源である「鳳来寺山」「長篠・設楽原の戦い」「湯谷温泉」などを活用し、新東名高速道路の開通と「道の駅もつくる新城」をテコとして、計画の取組を「観光産業の1つとして成長させる」としている。令和11年の観光入込客数の目標値は、360万人を掲げている。 今回、計画で分析された本市の観光事業の「弱み」をふまえて、以下、質問する。 (1) 観光事業の「弱み」の1つ目は、「観光施設の設備の老朽化」である。計画には「本市の人口が減少し、財政状況も厳しくなる中で、公共施設の老朽化への対策を打つことが困難になる」と書かれている。新城・鳳来・作手の各エリアの現状(主な観光地、観光客数の増減、ニーズの傾向など)と今後の課題(駐車場の有無、トイレなど公共施設の更新・廃止など)を伺う。 (2) 過去5年の観光客数と鳳来寺山・乳岩峡・湯谷園地美谷・湯谷温泉の各利用客数と今後の課題を伺う。 (3) 本計画には「武将観光の推進」が掲げられており、「地域住民と協働で環境整備や観光ボランティアガイドの育成をします」とある。観光事業の「弱み」の2つ目は「全国的な知名度を誇る『長篠・設楽原の戦い』と本市の認知度に差があり、観光地と本市のイメージが結びついていないこと」である。「設楽原ボランティアガイド」への支援・連携について、市の認識を伺う。 2 新城市職員の不祥事と再発防止について (1) 下江市政の4年間で発生した、公用車の事故件数と損害賠償総額を、それぞれ年度別・部署別で伺う。また主な原因と再発防止策についても伺う。			

- (2) 下江市政4年間に発生した市職員の不祥事(懲戒処分相当)の件数を年度別・部署別で伺う。また主な原因と再発防止策を伺う。
- (3) 中日新聞8月5日付が報じた市職員による用地買収にかかる不適正な事務処理とは何か、その事案概要と市職員の処分について伺う。

3 新城南部企業団地産業廃棄物中間処理施設の悪臭対策について

今年7月下旬、地元の八名区長会が、南部企業団地を管轄する愛知県へ「要望書」を提出した。また、新城市議会としても6月定例会にて全会一致で「新城南部企業団地の産業廃棄物処分業許可の更新に対して厳正な審査を求める意見書」を採択したところである。

私は、当該産廃処理施設の悪臭対策は、地元だけでなく市全体・県で考えるレベルまで引き上げられてきたと認識している。そこで、以下、市の認識を伺う。

- (1) 当該産廃処理施設の現況(稼働時間、汚泥・残渣などの搬入量など)を伺う。
- (2) これまで議会で明らかになった当該施設の修繕力所の対策は行われているのか、その修繕内容と進捗状況を伺う。
- (3) 八名区長会と新城市議会の代表が今年7月下旬、愛知県に「要望書」を提出した際に意見交換をしたと聞いている。八名区長会の「要望書」の内容についての認識を伺う。
- (4) 要望書提出後、市は県から報告や情報共有のやり取りがあったのか伺う。

16(1/2)



発 言 通 告 書

令和 7 年 9 月 1 日

新城市議会議長 様

新城市議会議員 中 西 宏 彰

下記のとおり発言したいから通告します

所要時間	60分	受付	9月 / 日	<u>午前</u> / 午後 9 時 25 分
発言の種類	<u>一般質問</u> ・本会議質疑・委員会質疑・討論 (該当に○印を記入)			
発言事項 (一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。) 発言要旨 (一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。)				
1 スマートインターチェンジの供用に伴う振興策について 東名高速道路への豊橋新城スマートインターチェンジ(仮称)については、早期供用開始を目指して工事が進んでいる。スマートインターチェンジの実現は、インターチェンジ周辺に企業の誘致や雇用機会が期待でき、八名地域の発展や人口の流出を防ぐ一助にもなるものとして、地域の活性化に大いに期待している。そこで以下伺う。 (1) 昨年12月定例会以降の進捗について伺う。 (2) 今後の具体的スケジュールを伺う。 (3) 豊橋市と連携する地域振興策について、豊橋市の北部地域活性化委員会との連帯感を持った検討内容の進捗状況を伺う。 (4) 供用開始に向けた道路政策推進室の今後の活動及び取組の進捗状況を伺う。 (5) スマートインターチェンジの供用は、地域振興、産業振興のための手段の一つである。この機会をどのように具体的に地域活性化につなげていく考えを持っているか伺う。 (6) 庁内プロジェクトチームの活動状況と実現可能性の高い事業の絞り込みの進捗状況を伺う。 (7) 開通後は交通量の増加が見込まれるが、出入口の安全性の確保及び地元からの安全対策の意見・要望等を踏まえた道路網整備の進捗を伺う。				
2 新城市観光大使について 新城市出身の人気お笑いコンビ「マヂカルラブリー」の村上氏が来る、市制20周年記念式典でのトークショーはとても明るい話題である。本市の観光振興を始めとし、市民への明るい話題の提供と本市を全国へ最大限にPRしてもらう最高なビ				

ッグチャンスとして捉えている。そこで以下伺う。

- (1) 観光大使就任の成果について伺う。
- (2) 観光大使に最も期待していることは何か伺う。
- (3) 市制20周年記念式典へ参加されるまでの交渉経過を伺う。
- (4) 今後の具体的な活動内容及びスケジュールを計画しているか伺う。
- (5) 村上氏が観光大使を引き受けてくれたことを一つの契機として、今後、観光振興の広がり、ネットワークをつくっていくことが今後の課題と捉えるが具体的な考えを伺う。

3 市長就任から2期目に向けて

下江市長は、「新城市の10年後に責任を持つ人口減少と少子高齢化の現実には負けないまち」を標榜され、早いもので4年の任期末を迎えようとしている。マニフェストに掲げた「5つの目標と36の提案」はいずれも市の将来に向けた重要な政策であり市民はその進捗に期待を寄せている。現時点における政策の達成状況と今後の見通しについて、以下伺う。

- (1) 人口減少と少子高齢化の現実には負けないまちとするための5つの目標の達成状況について伺う。
- (2) 掲げられたマニフェストは、今期において新たな政策課題への対応も含めて、市長自身の想定通りに経過しているのか伺う。
- (3) 標榜した目標と提案を事業化したとき、市民の満足度は直接的にサービスを提供する職員の働き方如何で大きく変化するものである。マニフェストは職員が働き甲斐を持って未来への明るい展望が描け、働く喜びをもたらすものであったのか伺う。
- (4) 市長は10年後の新城市の将来イメージをどのように描いているのか伺う。
- (5) 「新城市の10年後に責任を持つ」ために、今期4年間の成果、検証を踏まえ来期はどのような決意を持って臨まれようとしているのか伺う。



発 言 通 告 書

令和7年9月1日

新城市議会議長 様

新城市議会議員 齊藤 竜也

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	60分	受付	9月1日 (午前)午後9時51分
発言の種類	☒ 一般質問・本会議質疑・委員会質疑・討論 (該当に○印を記入)		
発言事項 (一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。)			
発言要旨 (一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。)			
1 中学校部活動の地域移行について 全国各地において様々な施策でスタートしている部活動地域移行は、新城市ではシスターズスクールという制度から今後「仮称新城クラブ」へと仕組みを構築していくことが進められているが、それには解決しなくてはならない課題はすでに認識されていると認識しているが果たして実態はどのような進捗なのか、以下伺う。 (1) 仮称新城クラブについて ア 仮称新城クラブ設立に向けた現在の進捗は。 イ 仮称新城クラブの内容は。 ウ 現状の部活動に対する保護者、生徒、教員の意見は。 (2) 総合型地域スポーツクラブについて ア 現在新城市内で活動している総合型地域スポーツクラブは。 イ 行政に総合型地域スポーツクラブの運営ノウハウがあるか。 (3) 部活動地域移行の民間参入について ア 現在、受け皿として参入する期待ができる民間企業や団体はあるか。 イ 民間企業や団体が部活動の受け皿として参入する方法は。 2 新城有教館高等学校作手校舎の今後について 新城有教館高等学校作手校舎の2年後の募集停止が決定した中、新城市の教育現場への影響や、廃校となった後について、以下伺う。 (1) 新城有教館高等学校作手校舎の2年後の募集停止について市の見解は。 (2) 元新城東高等学校跡地問題を教訓とし、跡地となった際の準備は。			

3 地域公共交通について

新城有教館高等学校作手校舎の募集停止はその後の作手地域の公共バスの運行に多大な影響が考えられる。また、作手に限らず中山間地域から遠方の高校に通う学生とその家族の負担等を考え、以下伺う。

- (1) 新城有教館高等学校作手校舎の募集停止により作手のバス運行にどのような影響があると想定しているか。
- (2) 自宅から遠方の高校等に通う生徒、家庭に向けた支援策はどのようなものがあるか。

4 公共施設の再編成について

現在各地においてワークショップが開催され、市民認知を高めつつ、各地域それぞれの抱える公共施設の再編成について、以下伺う。

- (1) 地域の公共施設に関するワークショップについてこれまでの評価は。
- (2) 現在進めている、地域の公共施設に関するワークショップについて、その後の展望は。